

鶴見大学 中期目標・計画(2023年度報告)

(進捗状況：S:極めて適切に実行している、A:適切に実行している、B:概ね実行している、C:必ずしも実行していない)

【I. 教育】1.高大接続の円滑化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
定員管理	R4(新)各学部、学科、研究科の定員充足	入試センター事務局	各学部の入試対策委員会を通じ、定員充足に向けた審議を行う。	充足に向けた具体策を各学部の入試対策委員会にて審議し実行する。オープンキャンパスや高校訪問、高校教員へ向けたガイダンスなど本学の魅力を伝えられるような施策を検討する。	【期末報告】 ・オープンキャンパスや進学ガイダンス等、受験生獲得のための広報活動を積極的に行ってきたが、7学科中6学科が入学定員を下回る結果となり、2024年度は早急な改善が必要である。	C	50%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
入試判定基準の見直しによるAPの実質化(大学教育に相応しい学生の選抜)	入試区分別の成績(GPA含む)推移・学修態度の検証	入試センター事務局	入試区分別の成績推移・学習態度の検証を行う。	各学部の入試対策委員会において入試区分別の成績推移・学習態度の検証を行い、入試日程や選考方法の策定に生かす。	【期末報告】 各学部の入試対策委員会において、前年度に入学した学生の成績推移・学習態度に鑑み、各入試区分の選考基準の検証を行った。現時点では、各学部において入学した学生の学修状況に著しい変化はみられず、概ね現状の選考基準で問題ないことを確認した。	C	50%	C	検証を行ったと記載がありますが、その結果を具体的に示してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証	入試センター事務局	各学部の入試対策委員会において、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証。	文学部、短大部、歯学部とも各入試対策委員会にて次年度の入試概要を審議する際、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性について検証する。	【期末報告】 各学部の入試対策委員会にて前年度の志願状況や受験生の学力を確認し、総合型選抜、学校推薦型選抜等の妥当性について検証を行った。しかしながら、検証だけでは志願者増に結びつけることができず、次年度は学生の質を低下させない範囲で、特に総合型選抜や学校推薦型選抜における受験機会の拡充、指定校対象校の拡充を図る改革が必要である。	C	50%	C	抜本的な入試改革とはどういった内容を検討しているもしくはするのか、具体的に示してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	奨学金(入学金・授業料減免)による優秀者確保	入試センター事務局	歯学部では個別選抜型1期(新入生特待奨学生選抜試験)にて奨学生を確保する。 また、年内に合格した受験生(編入学、外国人留学生特別選抜除く)にも新入生特待奨学生選抜試験にチャレンジできるようにした。 文学部では奨学特待生選抜試験において奨学生を確保する。 短大部では新入生特待奨学生選抜試験において奨学生を確保する。 ※上記内容は各学部で審議中	歯学部では個別選抜型1期(新入生特待奨学生選抜試験)にて奨学生を確保する。 また、年内に合格した受験生(編入学、外国人留学生特別選抜除く)にも新入生特待奨学生選抜試験にチャレンジできるようにした。 文学部では奨学特待生選抜試験において奨学生を確保する。 短大部では新入生特待奨学生選抜試験において奨学生を確保する。 ※上記内容は各学部で審議中	【期末報告】 歯学部では新入生特待奨学生選抜試験(個別選抜型1期兼ねる)にて奨学生を確保するため、新入生特待奨学生制度を設置し、年内に合格した受験生(編入学、外国人留学生特別選抜除く)にも新入生特待奨学生選抜試験にチャレンジできるようにした結果、個別選抜型の受験生で9名が認定。文学部では奨学特待生選抜試験を実施し、4学科計10名が受験したが奨学生対象者はなし、短大部では新入生特待奨学生選抜試験を昨年度同様に設置した結果、保育科で10名、歯科衛生科で7名が認定。	C	50%	B	「文学部で奨学生対象者はなし」とありますが、受験生の実数と共に示してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
総合型選抜、学校推薦型選抜入学決定者の勉強習慣獲得と弱点克服(入口から中身への円滑移行)	体系的な入学前準備教育プログラムの構築(e-ラーニングを活用した事前課題及びスクーリングの開講)	教務事務局	[文学部]12月までの入学予定者を対象として、必修で入学前準備教育課題を実施する。 [歯学部]12月までの入学予定者を対象として、必修で入学前準備教育課題を実施する。 [保育科]入学予定者全員に入学前教育課題を送付。教員が添削して返却する。ピアノの入学前個人レッスンを実施する。 [歯科衛生科]入学予定者に必修課題として全員を対象に入学前教育課題を実施。有料プログラムとして入学前準備教育(DVD講座)を実施。 [歯学部]歯学部入学までに歯科医師を目指すのに必要な基礎学力を身に付けさせる。	[文学部]12月までの入学予定者を対象として、必修で入学前準備教育課題を実施する。 [歯学部]12月までの入学予定者を対象として、必修で入学前準備教育課題を実施する。 [保育科]入学予定者全員に入学前教育課題を送付。教員が添削して返却する。ピアノの入学前個人レッスンを実施する。 [歯科衛生科]入学予定者に必修課題として全員を対象に入学前教育課題を実施。有料プログラムとして入学前準備教育(DVD講座)を実施。	【期末報告】 [文学部]12月までの入学予定者全員(229名)を対象に課題を送付し、必修で入学前準備教育課題を実施した。(内訳)総合型選抜:日本文学科19名、英語英米文学科15名、文化財学科10名、ドキュメンテーション学科9名、学校推薦型選抜:日本文学科65名、英語英米文学科59名、文化財学科28名、ドキュメンテーション学科22名、編入学試験1期:英緒英米文学科1名、ドキュメンテーション学科1名 [歯学部]12月までの入学予定者を対象(任意)に東進ハイスクールナガセの入学前準備教育(DVD講座)を受益者負担で実施予定。また、入学前オリエンテーション等を通じて、歯学部一般教育教員によるmanabaを使用して学習サポートを実施。 [保育科]入学予定者全員に入学前教育課題を送付。教員が添削して返却する。希望者(24名)を対象にピアノの入学前個人レッスンを実施した。 [歯科衛生科]入学予定者に必修課題として全員を対象に入学前教育課題を実施。有料プログラムとして入学前準備教育[DVD講座]を実施。必修課題は入学科134名が受講した。有料プログラム受講者は、基礎計算力完成コース1名、医療系生物入門(基礎生物①)コース9名、医療学生のための国語力入門コース1名、基礎から始める国語力トレーニングコース3名、基礎から始める数学トレーニングコース7名、コミュニケーション力養成①(PaCSあり)コース0名であった。	B	60%	B	歯学部と保育科は、実施内容のみではなく具体的な数値(人数等)も示してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。

【 I . 教育】 1. 高大接続の円滑化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
本学の魅力を伝える外部アプローチ	附属高校との連携強化	入試センター事務局	本学附属高校との連携(高大連携委員会)において、附属高校文化祭(光華祭)に「歯学部紹介コーナー」として、歯学部学生及び教員が参加する。出前講義ではないが、「文化財学科体験授業」を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。	10月下旬、附属高校文化祭(光華祭)に歯学部紹介コーナーとして参加する。出前講義ではないが、文化財学科の体験授業を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。	【期末報告】 ・4/20・21で附属中学校・高等学校の新生対象施設見学実施 ・図書館インターンシップ ・8/2~4附属中学校・高等学校の生徒対象に歯学部体験学習を企画し、中学生1名が参加。 ・11/3・4の光華祭に歯学部、保育科、歯科衛生科の教員、学生が参加 ・附属高校「歯学部進学コース」設置に向け、3月に希望者向けガイダンスを附属高校と本学共同で実施。	A	90%	A	実施内容のみではなく、参加人数や参加したことでのような効果が得られた等の結果も報告してください。 ----- 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	高校訪問・予備校訪問の継続・強化	入試センター事務局	歯学部、保育科は指定校を中心に高校訪問を行い、志願者拡大を目指す。入試センターで高校ガイダンスの際に進路指導の教員と情報交換を行う。	歯学部では訪問(約250校)する教員に対し事前の説明会を開き、訪問の際の共通認識を図る。学納金、奨学制度の変更手を重点的に伝える。教員は訪問後、また、編入学予備校や医療系予備校日本人学校への訪問し編入学試験、外国人留学生特別選抜の志願者拡大も図る。保育科では指定校を中心に(150校)に教員が訪問し、志願者拡大を目指す。	【期末報告】 歯学部は約250件、保育科は約40件、歯科衛生科は16件の高校訪問を実施、予備校訪問についても10校実施し、遠方等で訪問が困難な高校・予備校への資料発送と並行して関係強化を行った。 ※根拠資料あり	B	80%	B	歯学部教員に対する説明会の際に配布している資料等があれば、根拠資料としてアップロードしてください。 ----- 年度計画の数値に対し、保育科が未達成の理由を報告してください。 ----- 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。

【 I . 教育】 2. 教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
歯学部: 歯科医師国家試験合格率の向上を目指したカリキュラム改革	国家試験支援体制の整備(専門スタッフの配置等)	歯学部教務課	歯科医学教育学講座と他講座間との連携体制の強化を図ることにより、歯学部全体での国家試験支援体制の充実を図る。	カリキュラム方針の策定(カリキュラム委員会・歯科医学教育学講座)、教育指導(総合歯科医学VI実行委員会)、国家試験を見据えた試験問題作成(問題作成分析評価委員会)の連携強化を図る。	【期末報告】 歯科医学教育学講座、カリキュラム委員会を中心に、総合企画課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や、試験成績の分析を行うことを進めている。「問題作成、成績管理、分析評価委員会」でCBTや歯科医師国家試験の分析を行った。	B	60%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	試験回数や内容の効果検証による効率化	歯学部教務課	CBT-Medicalを使用した試験実施により、歯学教育モデルコアカリキュラム、歯科医師国家試験出題基準に合致した教育内容検証の効率化を図る。	IR推進課と連携し、試験の内容とシラバスに記載された歯学教育モデルコアカリキュラム、歯科医師国家試験出題基準とが合致しているか検証を行う。	【期末報告】 実習を除く全ての科目でCBT-Medicalを使用した試験を実施している。総合企画課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。次年度より共用試験が公的化されることに伴い、成績の分析を受けて授業内容に反映できるように4年生CBT対策として「総合歯科医学4実行委員会」、6年生国家試験対策として「総合歯科医学VI実行委員会」を組織し、歯科医学教育学講座とも連携を図り、外部模試や不得意科目の対策の検討を行うこととしている。各学年毎のGPA分布図の作成や、CBT-Medicalにより個々の成績結果をリーダーチャート形式で作成して、フィードバックを行い、効率化を図っている。	C	50%	C	歯科医学教育学講座での検討内容や、共用試験の公的化についても記載してください。 ----- 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
文学部: 学修意欲(モチベーション)を引き出す教育改革	実学志向の課題解決型アクティブラーニングの導入	文学部教務課	[文学部]科目の特性から判断して、教授法として実学志向の課題解決型アクティブラーニングが適切でかつ教育効果が高い科目において実施する。	[文学部]科目の特性から判断して、教授法として実学志向の課題解決型アクティブラーニングが適切でかつ教育効果が高い科目において実施する。	【期末報告】 令和5年度開講の実務家教員が担当している科目157科目中、98科目(62.4%)でアクティブラーニングを実施した。／文学部において実施している「授業改善アンケート」の自由記述欄を検証したが、特段言及はなかったため、効果は確認できなかった。	B	60%	B	アクティブラーニングの効果があれば、具体的に記載してください。 ----- 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
文学部:学修意欲(モチベーション)を引き出す教育改革	企業人(地域との連携)の演習講義の導入	文学部教務課	[文学部]文学部共通科目のキャリア形成科目において、企業人の科目担当者が授業を行う。 [キャリア支援課]キャリア支援課講座(ガイダンス)として実施(課外)	[文学部]文学部共通科目のキャリア形成科目において、企業人の科目担当者が授業を行う。 [キャリア支援課]キャリア支援課講座(ガイダンス)として実施(課外)	【期末報告】 [文学部]文学部共通科目のキャリア形成科目「キャリアスキル演習IV」において、企業人の科目担当者が授業を行った。また、第8回から第14回の授業において、7業界の企業人がゲストスピーカーとして講演を実施した。 [キャリア支援課]5月25・26日開催のキャリアガイダンスでは神奈川県中小企業家同友会 共同求人委員会 求人委員長の鈴木克彦氏を講師としてお招きし、文学部3年生68名、2年生36名が参加した。12月には企業の新卒採用担当者(4企業4名)を招き集団模擬面接を開催。参加学生:文学部3年生28名。4日間開催。1日3コマ(1コマ70分)。1日1企業が担当。 ※根拠資料あり	A	80%	A	ガイダンス等を開催した際のリーフレットや案内等があれば、根拠資料としてアップロードしてください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	個々の学生に合わせた多様なキャリア支援の実施	キャリア支援課	・個々の学生の希望を把握し個別支援 ・状況調査を定期的に実施し、希望等を把握	学生ごとに担当を決め、電話掛け等の連絡を定期的に行う。教員等の協力を得ながら学生状況の把握、支援を行っていく。	【期末報告】 支援を希望する学生には学年を問わず個別面談を行い支援を行った。支援内容は多岐にわたり、進路・就職相談、インターンシップ、業界・企業について、面接対策、履歴書・エントリーシートの添削など、傾聴を重視し個々の悩みや相談に応じている。延べ1500件以上の個別支援を行った。	A	100%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	学生の社会貢献活動の正課の教育課程化	文学部教務課	[文学部]文学部将来計画委員会で検討する。	[文学部]文学部将来計画委員会で検討する。	【期末報告】 「文学部将来計画委員会」において検討した結果、社会貢献活動の正課の教育課程化については見送ることとなった。	C	0%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
短大部:国家試験合格率の向上	R4(新)歯科衛生士国家試験の合格率向上	短大部教務課	[歯科衛生科]歯科衛生士国家試験の合格率向上に向けて、国家試験対策の強化を図る。	[歯科衛生科]1年次から国家試験対策の強化・保護者面談の早期実施・国家試験直前対策の強化。	【期末報告】 [歯科衛生科]1年次から国家試験対策の強化・保護者面談の早期実施・国家試験直前対策の強化を図った。受験生(3年生)へは、早期から出題数の多い主要3科目の対策を実施し、さらに少人数グループでの指導を行った。定期的に全国模擬試験を行い、その結果を指導に繋げた。 ※根拠資料あり	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
優秀な学生を伸ばす教育的戦略	優秀な学生向けの特別プログラムの導入	教務事務部	[文学部]大学院の授業を履修できる早期履修制度を導入し、令和5年度より運用を開始する。また、SAとして採用し活躍することで、学生自身の成長を促す。 [歯学部]成績上位者は補講を一部免除等の措置を検討している。 [保育科]選択科目にて、自然体験指導リーダーの資格を取得できる。また、公立保育園等の就職対策講座を設置し、公立保育園合格率率アップを目指す。 [歯科衛生科]総合病院(新百合ヶ丘病院等)にて特別プログラムでの実習を実施。	[文学部]履修登録の単位数の上限を増やしている。早期履修制度の運用を開始する。SAを採用し、授業補助等を行わせる。 [歯学部]成績上位者は補講を一部免除等の措置を検討している。 [保育科]選択科目にて、自然体験指導リーダーの資格を取得する学生を増やす。また、公立保育園等の就職対策講座を設置し、さらに個別指導によって公立保育園合格率率アップを目指す。 [歯科衛生科]総合病院(新百合ヶ丘病院等)にて特別プログラムでの実習を実施。	【期末報告】 [文学部]令和6年度早期履修制度の出願要項を整備したが、出願はなかった。SA制度を活用し実施した。履修登録の単位数の上限を増やしている。 [歯学部]成績上位者は補講を一部免除等の措置について検討を継続している。 [保育科]必修科目履修者が自然体験指導リーダーの資格を取得できるようになり、資格取得希望学生を増やすことを目指した。その結果申請者が40名を超えた。また、公立保育園等の就職対策講座を設置し、さらに個別指導によって公立保育園合格者を2名輩出した。 [歯科衛生科]総合病院(新百合ヶ丘病院等)にて特別プログラムでの実習を実施した。	C	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	SA(チューター・アシスタント)、TA(ティーチング・アシスタント)制度の導入と活用	文学部教務課	[文学部]SA、TAを採用し、文学部学生の学修支援を行う。	[文学部]TA 4名、SA 44名を採用予定。	【期末報告】 年間で、TA4名、SA24名を採用し、学生への学修支援にあたった。	A	100%	B	大学設置基準等の改正に伴い、指導補助者に対する研修についても今後検討を行ってください。

【I. 教育】2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直し	教務事務部	[文学部]カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは既に実施済みである。2020年度までに対応完了。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科]カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直しを行い、2022年度学生からカリキュラムを変更するために文科省に教員の認定申請済。 [歯科衛生科]カリキュラムの検証と見直しを継続。	[文学部]カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは教務委員会で実施する。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科]カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直しを行い、2022年度学生からカリキュラムを変更するために文科省に教員の認定申請済。 [歯科衛生科]カリキュラムの検証と見直しを継続。	【期末報告】 [文学部]カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは既に実施済みである。2020年度までに対応完了している。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。 [保育科]カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直しを行った。 [歯科衛生科]カリキュラムの検証を行っている。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	シラバス記載内容の充実と整合性の検証	教務事務部	[文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行う。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	[文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行う。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。 DP,CPの記入の徹底。及び予習復習の時間の確認。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	【期末報告】 [文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行い、不都合がある場合は科目担当教員に修正を依頼した。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。総合企画課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。また、PD,CPの記載の周知徹底を行った。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施した。またDP,CPの記入の徹底し、予習復習の時間の確認を行った。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	ポートフォリオの導入による学修成果の可視化	教務事務部	[文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオを活用して学修成果を可視化する。 [歯学部]学習スケジュール表を導入し、担任指導の下学生自身で学習計画の管理を行うことを検討している。 [保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行う。 [歯科衛生科]ステップアップノートを活用し、各教科の学習成果の可視化を行う。	[文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオを活用して学修成果を可視化する。 [歯学部]学習スケジュール表を導入し、担任指導の下学生自身で学習計画の管理を行うことを検討している。 [保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行う。 [歯科衛生科]ステップアップノートを活用し、各教科の学習成果の可視化を行う。	【期末報告】 [文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオの導入は既に実施しており、活用している。 [歯学部]学習スケジュール表を導入し、担任指導の下学生自身で学習計画の管理を行うことを検討している。 [保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行った。 [歯科衛生科]ステップアップノートを活用し、各教科の学習状況を把握した。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	授業評価制度の見直し・具体的な活用方法	教務事務部	[文学部]学生対象の授業アンケートをmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯学部]学生による授業評価アンケートをmanabaで実施。また、教員同士による相互評価を実施。 [保育科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯科衛生科]前期・後期授業アンケートをmanabaで実施し、検証を行う。	[文学部]学生対象の授業アンケートをmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯学部]学生による授業評価アンケートをmanabaで実施。また、教員同士による相互評価を実施。 [保育科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯科衛生科]前期・後期授業アンケートをmanabaで実施し、検証を行う。	【期末報告】 [文学部]前期・後期の期間に授業アンケートをmanabaにより実施した。前期・後期の期間に授業公開を実施した。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。授業公開を聴講した教員は授業に関する感想・意見を提出し、また、自身の授業改善の検討資料として活用している。 [歯学部]前期2期より学生による授業評価アンケートをmanabaで実施した。アンケートの結果を確認し検証を行うよう周知した。 [保育科]前期授業アンケートをmanabaで実施した。また教員間での授業公開を実施し、後期授業アンケートもmanabaで実施した。 [歯科衛生科]前期・後期の授業アンケートをmanabaで実施した。前期・後期の授業公開を実施し、教員同士による相互評価を行った。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。	A	60%	A	引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
	個人面談・オフィスアワーの活用	学生支援課	学生にオフィスアワーを中心とした個人面談の機会を与え、学修面だけでなく、学生生活全般における悩み事を聞き取り、問題解決の糸口になるようにする。 [文学部]成績不良者(GPA1.0未満)との個人面談を実施する。年度始めにオフィスアワーの一覧を学生に配布し活用するように周知している。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、年に数回、学年会議において学年主任・担任間で情報を共有する。 [短大部]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。年度始めにオフィスアワーの一覧を学生に配布。	年度初め、学生にオフィスアワーの時間を示す。(教務課オリエンテーションにて) [文学部]成績不良者(GPA1.0未満)との個人面談を実施する。年度始めにオフィスアワーの一覧を学生に配布し活用するように周知する。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、学年主任と情報を共有している。 [短大部]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。 [保育科]上記に加えて、実習前後の実習担当教員による個人面談を実施する。	【期末報告】 [文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施。年度初め、学生にオフィスアワーの一覧を配布した。成績不良者との面談を担当が対面で学修指導を行った。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、年に数回学年会議において学年主任・担任間で情報共有を行った。 [短大部]担任制を取り、欠席2回で担任に報告し、また学生支援課と情報を共有した。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施した。実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。年度始めにオフィスアワーの一覧を学生に配布した。 また、実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。 [歯科衛生科]担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。 ※根拠資料あり	S	90%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
中途退学理由の解明と対策の実施(集中的な退学者対策)	入学試験方法と中途退学者との関係(歯学部は国試合格率も)分析と対策	学生支援課	[学生支援課]IR推進課の分析結果を基に、対策を検討する。 [IR推進課]2019年度から実施している施策の評価は、2024年度に行う。その他、モニタリングを行う。 ・入試区分ごとの2022年度卒業率・退学率算出。 ・入試区分ごとの2022年度歯科医師国家試験合格率の分析。 ・文学部指定校推薦者、短大保育科の出身高校毎の在籍状況分析。 なお、歯学部については、授業科目に対応する歯学モデルコアカリキュラムのチェック、学生の成績分析等を検討。	[学生支援課]IR推進課の分析結果を各学部の学生委員会に報告し、退学者対策について検討する。 [IR推進課]2023年3月～7月に2022年度卒業率、退学者、国家試験合格者と入試区分のクロス分析。 文学部指定校推薦者、短大保育科の出身高校毎の在籍状況分析。	【期末報告】 [学生支援課]分析結果の検討まで至らなかった。 [総合企画課]文学部の2020年度入学者からの卒業要件変更(130単位→124単位)による影響については、2024年度に分析を行う。短大保育科の出身高校毎の在籍状況分析を3月に保育科教員に送付した。 ※根拠資料あり	C	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	きめ細かい中退ケア方策の策定	学生支援課	中退学生の抑制及び早期発見 [文学部]GPA1.0未満の学生の学修指導を行う。学籍異動の際には「学籍異動調査票」に記録し学科内で情報共有する。 [歯学部]厳格な出席管理のもと、授業を欠席した学生に対しては当該授業の録画を見せ、修学に遅れをきたさないようにする。また、定期的に担任と面談を実施する。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。	[学生支援課]相談に来た学生の問題を解決するため、関係部署、当該学科の教員と連携して対応する。 [文学部]GPA1.0未満の学生の学修指導を行う。学籍異動の際には「学籍異動調査票」に記録し学科内で情報共有する。 [歯学部]システムを用いた出欠管理。担任による定期的な面談。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。	【期末報告】 [文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施。「学籍異動調査票」に記録し学科内で情報共有した。 [歯学部]授業を欠席した学生に対してはWeb欠席届を提出させ、当該授業の録画を視聴した後、口頭試問を受けることを義務付け、授業の補完とした。また定期的に担任との面談を実施した。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告した。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防いだ。担任による個人面談を実施した。実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防いだ。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
中途退学理由の 説明と対策の実施 (集中的な退学者 対策)	これまでなされてきた 中退対策の成果 検証と改善方策	学生支援課	・T-PECの周知及び活用(文学部・短期大学部) ・各学部毎、教員と学生の面談を強化 (中長期番号3-1-5は3-1-3と一緒に実施)	T-PECの認知度を上げるため、ポスター 掲示やオリエンテーション等で、学生への 周知を図ると共に、定期的にポータル・掲 示等でも周知をしていく。	【期末報告】 T-PECの認知度を上げるため、年度初めオリエンテーションでチラシ を配付するだけでなく、時期に応じてチラシの掲示を行い、学生へ の周知をした。窓口での学生面談については、教員、他の関係部署 とも連携し、対応できた。 ※根拠資料あり	B	60%	B	前年度に比べ、利用数が減っています。今後は経年での比較等も 行い、改善・向上に努めてください。
	学生支援に関する 包括的なポリシー の策定と専門ス タッフの配置・育成	学生支援課	既存の学生支援に関する方針(学生支援 ポリシー)を基に、学生に的確な対応がで きるようにする。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任 に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠 席を防ぐ。担任による個人面談の実施。 実習前後の実習担当教員による個人面 談。 [歯科衛生科]担任が生活状況や学習状 況に応じて学生と面談を実施、当科の教 員で共有し、必要があれば他の部署と連 携し対応する。 [キャリア支援課]キャリアコンサルタント (国家資格)を有したスタッフを配置し個人 面談を実施。	研修会等、積極的に参加し、情報を収集 する。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任 に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠 席を防ぐ。担任による個人面談の実施。 実習前後の実習担当教員による個人面 談。 [歯科衛生科]担任が生活状況や学習状 況に応じて学生と面談を実施、当科の教 員で共有し、必要があれば他の部署と連 携し対応する。 [キャリア支援課]キャリアコンサルタント (国家資格)を有したスタッフを配置し個人 面談を実施。	【期末報告】 [文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施した。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、学年主任と情報を 共有した。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡 を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実 習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と 連絡を取り長期欠席を防いでいる。 [学生支援課]各種研修会に積極的に参加し、他大学の事例等を参 考にししながら、研修内容を課内で共有した。 [キャリア支援課]キャリアコンサルタント(国家資格)を有したスタッ フを配置し個人面談を実施。必要に応じて課内で情報を共有。対応 困難な学生に対しては専門の資格を有するスタッフがその知見を活 かしつつ就職支援を行った。	B	70%	B	引き続き、改善・向上に努めてくださ い。
学生一人ひとりが 安心できる精神的 拠り所の整備(教 職連携支援体制 の構築)	R5(新)障がい学 生支援の強化	包括支 援課	障がい学生へ合理的配慮を提供するため の支援体制を構築する。	障がい学生への支援体制を構築するた め、規程や委員会を整備する。また、配慮 を希望する障がい学生との面談を行い、 合理的配慮の提供について検討の上、支 援を行う。	【期末報告】 令和5年7月1日付で、「障がい学生支援に関する基本方針」の改正 並びに「鶴見大学障がい学生支援に関する規程」及び「鶴見大学障 がい学生支援推進部会規程」の制定を行った。文部科学省より、令 和6年1月17日付で、「文部科学省所管事業分野における障害を理 由とする差別的解消の推進に関する対応指針」の一部を改正し、令 和6年4月1日から施行するとの通知があった。これを受けて、「障が い学生支援に関する基本方針」並びに「鶴見大学障がい学生支援 に関する規程」の改正について「障がい学生支援推進委員会」にお いて審議し、令和6年4月1日付での改正を行った。 また、令和5年度に支援(合理的配慮の提供)を実施した学生は6 名、合理的配慮の提供は行わなかったものの相談を受け面談を 行った学生は7名、その他、複数の入学予定者の面談や支援内容 の検討を行っている。支援状況の確認や修学上の困難を把握する ため、コーディネーターを中心に継続的な学生面談を実施している。 ※根拠資料あり	A	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてくだ さい。
	R5(新)国際交流 の活性化	包括支 援課	コロナ禍のため中断していた国際交流事 業について、今後様子を見つつ再開して いくとともに、新たな国際交流事業につ いて検討する。	国際交流協定校からの学生を受け入れる 際には、国際交流センターにおいて、ゲ ストハウスの手配や交流会の開催等の協 力を行う。	【期末報告】 令和5年度の年間を通しての協定校からの受け入れは、文学部2名 (イギリス)、歯学部が7名(香港)であり、期間中ゲストハウスに滞 在した。また、本学からの派遣については、文学部は授業での短期留 学の学生が1名(カナダ)、協定校への長期派遣留学生が1名(カナ ダ)となっており、歯学部では協定校へ4名の学生(オーストラリア) の派遣を行った。なお、派遣、受入とも危機管理サービスを利用し、 適切な安全管理を行った。 新たな国際交流事業については、検討中。	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてくだ さい。
意欲ある学生の 成長を促す奨学 金制度の整備	努力を続ける学生 に対する奨学金制 度の拡充	学生支 援課	總持寺奨学生、同窓会奨学生等、奨学金 制度の継続	規程や細則に則り、学生への周知及び公 正な奨学生選考を行う。奨学金制度によ り、学業優秀な者、課外活動で活躍した者 等、対象が異なるため、学生への周知を 徹底する。	【期末報告】 3月に当該年度の年度GPAを基に、歯学部特待生の選考を実施し た。 新2年生 18名、新3年生 10名、新4年生 10名、新5年生 7名、新6年 生 10名 合計55名 ※根拠資料あり	S	100%	A	引き続き、改善・向上に努めてくださ い。
	学内ワークスタディ の拡充等	キャリア 支援課	[キャリア支援課]大学業務の補助を通し て学生の成長と経済的支援を行う。	[キャリア支援課]大学業務の補助を通し て学生の成長と経済的支援を行う。	【期末報告】 図書館、キャリア支援課で学内ワークスタディを実施。大学業務の 補助を通して、学生の成長と経済的支援を行った。	B	90%	B	引き続き、改善・向上に努めてくださ い。

【I. 教育】3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
学生に関する各種記録のデータベース化による情報共有・支援円滑化	学生面談記録のデータベース化(教員・学生支援課)	学生支援課	各担当部署で学生と面談した際は、必要に応じて、関係部署間及び当該学科の主任・科長、学生委員の教員と情報共有を図る。 [保育科]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、教員と情報共有している。	各担当部署で学生と面談した際は、面談記録を残し、部署間及び当該学科の主任・科長、学生委員の教員と情報共有を図り、多方面から学生を見守っていく。 [保育科]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、教員と情報共有している。科会にて逐一報告する。	【期末報告】 [学生支援課]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、当該学科教員及び当該学部の教務課と情報共有を行った。また、学生の状況によっては包括支援課・保健センターとも連携をして、対応した。データベース化はできていないが、求められれば面談記録等は示せるようにしている。 [文学部]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、関係部署と情報共有を行った。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を行い、CampusSquareへの入力をしている。また、学年主任と担任の学年会議を毎月に行い、情報共有をはかっている。また、学年会議の報告を学生委員会でやっている。 [保育科]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、教員と情報共有を行った。個人情報であるため、記録の保護には気を付けている。電子データによるデータベース化はできていないが、紙媒体で面談記録は保管しているため、いつでも閲覧可能である。 [歯科衛生科]学生や保護者等との面談した際は記録を取り、都度、科内・関係部署と情報共有を行った。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	進路指導記録のデータベース化(教員・キャリア支援課)	キャリア支援課	[キャリア支援課]個々の学生の面談記録等をシステムに入力し共有。 [保育科]キャリア支援課で把握した就職状況を教員も把握し、実習巡回で卒業生の様子や採用状況を把握する。高校訪問に活かす。専攻科への内部進学指導を行う。	[キャリア支援課]個々の学生の面談記録等をシステムに入力し共有。 [保育科]キャリア支援課で把握した就職状況を教員も把握し、実習巡回で卒業生の様子や採用状況を把握する。高校訪問に活かす。専攻科への内部進学指導について説明会、個別相談を実施する。	【期末報告】 [キャリア支援課]システム上に記録を残し、共有すべき問題は課内で共有。教員へは必要に応じ個別に共有・連絡を行った。 [保育科]キャリア支援課で把握した就職状況を教員も把握し、実習巡回で卒業生の様子や採用状況を把握し、高校訪問に活かした。専攻科への内部進学指導について5月に説明会、7月、11月に個別相談を実施した。また進学相談教員を配置し、疑問点について相談しやすい体制を整えたこともあり志願者が増加した。 ※根拠資料あり	A	100%	A	専攻科への内部進学指導についての説明会や個別相談について、どのように周知し、実施したのかを示してください。(根拠資料があればアップロードしてください。) 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	実習巡回記録のデータベース化(短大教務課)	短大教務課	[保育科]実習巡回記録は紙媒体で保管している。実習先一覧等は教務課でデータ化管理しており、実習巡回での問題点等は教務課の実習先一覧データに集約している。 [歯科衛生科]実習巡回記録をデータベース化し、情報を共有する。	[保育科]実習巡回記録は紙媒体で保管している。実習先一覧等は教務課でデータ化管理しており、実習巡回での問題点等は教務課の実習先一覧データに集約している。 [歯科衛生科]実習巡回記録をデータベース化し、情報を共有する。	【期末報告】 [保育科]実習巡回記録は紙媒体で保管した。実習先一覧等は教務課でデータ化管理しており、実習巡回での問題点等は教務課の実習先一覧データに集約した。 [歯科衛生科]実習巡回記録をデータベース化し、情報を共有した。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
課外活動の振興を目指した環境整備・予算配分	課外活動の発表・表彰制度の導入	学生支援課	・文科系団体は主に大学祭において各々の活動についての発表を行う。体育系団体については、常に活動報告書を提出してもらおう。いずれも、大学報で、活動内容や試合結果・成績等を掲載する。 ・文学部・短期大学部同窓会、歯学部同窓会奨学生制度を周知する。	・長期休暇期間を除き、原則月に1回、代表者を集めた団体会議を開き、ルールブックに則った課外活動の運営を進める。 ・同窓会奨学生の選考を円滑に行う。	【期末報告】 ・文化系団体は大学祭において各々の活動についての発表を行った。併せて大学報で年に2回、活動内容を掲載した。 ・体育系団体については、常に活動報告書を提出してもらい、大学報で年に2回、試合結果や成績等を掲載した。 ・文学部・短期大学部同窓会(後期)、課外活動で顕著な成績を残した学生や活躍した学生に対して、奨学金を給付した。 文学部はボランティアや学会運営で活躍した2名、短期大学部は全日本一輪車競技大会で銅メダルを獲得した1名。 歯学部同窓会奨学生についても今年度は学会発表やデンタルで活躍した3名の学生に対して奨学金を給付できた。	A	90%	A	前年度同様、各学部の同窓会奨学生について、具体的な内容や実績も報告してください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
愛校心・帰属意識を高める工夫	大学行事(イベント)や広報への学生の積極的な参画	学生支援課	大学祭を対面開催で実施し、学生の参加率を向上させる。	課外活動に参加していない学生も、気軽に大学祭に参加できるようなイベントを計画する。 つるみんなり隊の活動を本格的に再開し、各種イベントに参加してもらう。	【期末報告】 [学生支援課]初めてのイベントとして、七夕イベントを開催した。笹を設置し、用意した短冊に学生・教職員の各々の願い事を書いてもらった。終了後は短冊を總持寺に持参し、お焚き上げをしていただいた。紫雲祭は昨年に引き続き、対面での開催ができた。参加団体が少なく、参道での模擬店はできなかったが、5号館前で3団体が模擬店を行った。また、初めての試みとして、キッチンカーを導入した。トークショーのチケットは完売し、来場者数は2日間で延べ2,000名程であった。紫雲祭終了後、次年度の参加団体を増やすため、紫雲祭実行委員会が企画したお菓子のつかみ取りを開催し、大いに盛り上がった。 [入試課]オープンキャンパス6回(+春1回)、保育科ミニオープンキャンパス3回、歯学部一日体験入学2回、冬のキャンパス見学会1回、それぞれに学生が参加し、司会や説明、案内等の配役ににつき、本学の魅力をアピールした。 ※根拠資料あり	A	90%	A	引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅱ. 研究】 1.学部の特を超えた学際的研究環境の構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
研究意欲の喚起・推進	研究・教育業績と連動した研究費の配分の見直し(助教以上研究費申請なしで研究費減額)	教育研究支援課	専任教員以上の研究費等外部資金申請状況の把握	過去5年間に遡って研究費等外部資金申請状況をデータ化する。大学、短大ごと、各学部ごと、随時データ化を行う。	【期末報告】 研究費自体が大幅に削減されているため、研究費申請なしによる研究費の配分見直しについては実現不可能と思われる。研究者職位別に研究費申請状況のデータ化を行った。 ※根拠資料あり	B	80%	B	年度計画に記載されている「過去5年間に遡って研究費等外部資金申請状況をデータ化する。」についても報告してください。 2022年度の実績報告にアップロードされている資料タイトルは「2022(令和4)年度～」ですが、2023年度のアップロード資料タイトルは「2024(令和6)年度～」になっています。ご確認ください。 資料について確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	教員の年次研究計画の作成と審査の実質化	教育研究支援課	・2023年度教員の研究計画を提出していただく。 ・2022年度教員の研究計画報告をしていただく。	各教員、講座へ提出依頼を実施。期日を設けて提出をしていただく。	【期末報告】 提出された計画書と報告書を取りまとめ、学長へ報告済み。また、未提出の計画書及び報告書については、再三督促を行ったが応じず、2023年度末に当該教員は退職した。未提出の旨学長へ報告を行った。 ※根拠資料あり	A	80%	A	歯学部で1件未提出があるようですが、そちらの管理はどのようになっているか、報告してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	URAの配置など、研究費申請の推進指導、サポート体制の強化	教育研究支援課	研究費申請の推進指導、サポート体制強化。	・研究費の各種目ごとの公募通知を実施する。 ・研究費学内説明会を開催する。	【期末報告】 研究費の各費目について公募通知を実施した。(2023.7.14) 外部資金獲得支援のための動画講座を公開した。(2023.7.3、8.2) 研究費の申請率、採択率共に減少した。 ※根拠資料あり	A	90%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	附置研究所の活動方針明確化、サポート体制強化	教育研究支援課	附置研究所の活動方針明確化、サポート体制強化	各附置研究所ごとに詳細な事業計画を立て、実行していく。	【期末報告】 教育研究支援課のサポート体制としては、各附置研究所との連絡調整、委員会業務や予算執行に関する事務手続き、仏教文化研究所においては専任の事務職員を配置しサポートしている。附置研究所である仏教文化研究所と公共医学科学研究センターそれぞれに事業計画を立て、実行していった。また、各附置研究所において令和6年度の事業計画を立てた。 ※根拠資料あり	B	70%	B	当該年度(2023(令和5)年度)の事業報告書に対しての実績を報告してください。事業報告書があればアップロードしてください。 資料について確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
研究業績の学内外共有とマッチング機能による共同研究推進	教員の研究業績のデータベース化(機関リポジトリの導入)	教育研究支援課	教員の研究業績のデータベース化。	・研究業績プロ(システム)についての活用継続と推進。 ・研究業績プロ(システム)に入力を行ってもらうよう各研究者に通知を行う。	【期末報告】 新たに入職した研究者に向けてメール等で通知を行った。研究業績プロ未入力専任教員へも継続して定期的に入力を促していく。 ※根拠資料あり	B	60%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	企業や海外大学との共同研究	教育研究支援課	企業との共同研究の推進	企業との共同研究の推進	【期末報告】 令和5年度の企業との共同研究については継続して適切に実施した。 ※根拠資料あり	A	80%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅲ. 医療】 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上と診療効率化	患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上	病院事務部	診療科フロア制の導入に伴う設備の構築、院内環境改善	・診療科の統合 ・多目的トイレの設置 ・バリアフリーの強化	【期末報告】 ・診療体制検討委員会が中心となり、診療科の統合・移設を実施した。引き続き再構築へ向けての検討を行う。 ・多目的トイレの設置やバリアフリーの強化については、院内リノベーションが進行中のため容易に改修することが困難であるため実施を見送った。 また設置には多額な費用も要するため、次年度への実行に向けて概算費用等を検討する。	B	70%	B	「診療科の統合」については記載されていますが、その他の年度計画についても報告してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	医療スタッフ動線や設備数・配置等の最適化による診療効率化	病院事務部	診療科のフロア制によるスタッフ間の信頼関係の構築、および患者サービスの向上に努める。	・歯科衛生士のフロア制の導入 ・診療科の統合 ・ユニットの削減	【期末報告】 ・初診科、高齢者歯科の移設に伴う歯科衛生士のフロア制の見直しを行い実行した。 ・診療科の統合に伴い、診療科移設時に移設先の老朽化したユニットと交換移設した。	B	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅲ. 医療】 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
病院内に地域連携室を設置し、地域の医療機関や歯科医師会と連携した地域医療ネットワークを構築	横浜市の中核病院である済生会横浜市東部病院や歯科医師会と連携し、周術期の口腔ケア機能を拡充	病院事務部	地域医療連携室において歯科医師会・医師会等の関連医療機関への広報活動を実施。	・HPの活用。 ・済生会横浜市東部病院の周術期患者の受け入れ枠を増やす。 ・広報活動による、地域住民への周知。	【期末報告】 ・周術期受診者数は年々増加している。次年度は周術期受診後も引き続き当院にて歯科治療の受診をしていただくよう努める。 ・11月9日に開催した済生会東部病院との情報交換会に出席。 ・次年度にハンディサイズのパンフレットを配付予定。 ※根拠資料あり	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	障がいを抱える患者様を対象とした、日帰りの全身麻酔下歯科治療の実施体制を強化	病院事務部	横浜市と連携し患者の受け入れを行う。	・歯科麻酔科での予約患者数を増やす。(1日/週、5日/月)	【期末報告】 ・目標の患者数を達成することはできなかったが、年々患者数は増加している。 ※根拠資料あり	S	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	超高齢社会における歯科総合病院の特徴を活かした質の高い訪問歯科診療体制を構築	病院事務部	地域医療連携室を中心とし、高齢者歯科・口腔内科との連携による受入れ体制の確立。	・訪問診療マニュアルの作成。 ・訪問診療の統括。 ・定例会議を月1回開催し、情報共有を行う。 ・地域への広報活動。	【期末報告】 ・地域医療連携室の歯科衛生士が業務を引き継ぎ訪問診療を行ったが、高齢者歯科については訪問診療担当医の退職に伴い2023年度を以って訪問診療を中止することとなったため、口腔内科との訪問診療統括は実施せず。口腔内科については引き続き訪問診療を行う。 ・高齢者歯科の訪問診療の中止により、「訪問診療マニュアルの作成」「地域への広報活動」は頓挫となった。 ・地域医療連携室において診療スタッフとのミーティングを行い情報共有をし、毎月開催する医事連絡会議において報告を行っている。	B	50%	B	年度計画に沿って、具体的に報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅳ. 社会貢献】 1.地域(住民・行政)と總持寺、本学の連携

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
街づくり・地域活性化のためのコミュニティ形成と運営	地域(住民・行政)並びに總持寺と連携した事業やイベントの実施	総務課	・輪島市民セミナー開催 ・輪島市観光物産展開催 ・「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクト参加 ・鶴見観光ネットワーク協力 ・鶴見大学杯 少年野球大会開催 ・禅と海 里づくり交流促進プロジェクト	・總持寺祖院のある輪島市と包括連携協定を結んでいることに基づいて、輪島市民セミナー・輪島市観光物産展を開催し、輪島市に鶴見大学を、また鶴見に輪島市をPRする。 ・2022年4月NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」放映をきっかけに、鶴見区の官民学が集まり「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクトを発足。本学も鶴見区発展のため参加協力しており、今年度も活動を継続する。 ・令和5年度から再開する鶴見観光ネットワークに協力する。 ・鶴見大学杯少年野球大会を鶴見区少年野球連盟と共催、横浜市鶴見区及び神奈川新聞社後援にて開催予定。 ・禅と海 里づくり交流促進プロジェクトでは、總持寺・總持寺祖院・輪島市・鶴見区・本学が連携し、イベントを開催予定。	【期末報告】 ・8月8日に石川県立門前高等学校の生徒がを本学に来校し、大学紹介(進路研究)、授業体験、施設見学、附属高等学校との生徒交流等を行った。 ・輪島物産展は令和5年度は紫雲祭内ブースで開催。 ・鶴見観光ネットワークの交流会、6月23日に区内60団体が集まり交流会が開催され参加した。 ・鶴見大学杯少年野球大会開会式は9月30日を開催。 ・禅と海 里づくり交流促進プロジェクトは開催は見送られた。	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅳ. 社会貢献】 2.地域ニーズと学内資源(文学・健康医療・子育て支援・施設)のマッチング強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
文学部・歯学部・短大部の知を活かした生涯学習の再構築	地域ニーズのリーサーチと本学の特徴を活かした生涯学習の在り方を検討	総務課	・令和5年度つるみ連携カレッジ	・学科への協力依頼 ・講座内容、実施方法、広報内容を企画 ・5月地域連携推進委員会にて実施案提出 ・ポスター等作成・発送・周知等広報活動 ・10~2月期間中に講座実施	【期末報告】 ・令和5年度つるみ連携カレッジ「百人一首」の文学をオンデマンドで予定どおり開催。受講者数は86名(4月18日時点)。 ※根拠資料あり	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅳ. 社会貢献】 2.地域ニーズと学内資源(文学・健康医療・子育て支援・施設)のマッチング強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
歯学部及び附属病院を活かした地域社会の健康福祉の増進	歯科医師会や地元歯科医師と連携した地域医療ネットワーク構築	病院事務部	歯科医師会、地元歯科医院との連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の実施 ・広報誌の発行 ・各種セミナーの実施 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月9日開催の済生会横浜市東部病院との情報交換会に出席。 ・次年度、鶴見区地域医療連携ネットワーク「サルビアねっと」に加入し、地元歯科医院との連携・地域包括ケアシステムの構築を目指す。 ・現在、本来の地域医療連携室としての機能が不十分な状況のなか、「協議会の実施」「広報誌の発行」および「各種セミナーの実施」を行うことが困難と判断し実施せず。地域医療連携室の在り方を見つめ直すことが必要である。 	C	50%	C	年度計画に沿って、具体的に報告してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。
	訪問歯科診療等、社会ニーズを踏まえた地域医療の提供	病院事務部	歯科医師会、地元歯科医院との連携による受け入れ体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行 ・訪問診療マニュアルの作成 ・患者、地域住民へ向けてのセミナーの開催 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室の歯科衛生士が業務を引き継ぎ訪問診療を行った、高齢者歯科については訪問診療担当医の退職に伴い2023年度を以って訪問診療を中止することとなったため、口腔内科との訪問診療統括は実施せず。口腔内科については引き続き訪問診療を行う。 ・現在、本来の地域医療連携室としての機能が不十分な状況のなか、「広報誌の発行」「患者、地域住民へ向けてのセミナーの開催」については行うことが困難と判断し実施せず。 	C	40%	C	年度計画に沿って、具体的に報告してください。 確認しました。引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅴ. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
学園(大学)のあるべき姿・将来像の明確化	学園(大学)の将来像を設計(マスタープラン)	総合企画課	中長期計画である「総持学園Vision2024」改訂版(2023-)と、中長期財政計画のひとつである「事業活動収支シュミレーション」について共有を図り、中期的に計画を遂行していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「総持学園Vision2024」改訂版(2023-)に沿って、年度計画を実行する。 ・人件費抑制計画を進めていく。 ・学生募集の強化を図る。 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月開催の理事会において、「中長期財政計画」が承認された。 ※根拠資料あり 	B	70%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	将来像を実現するための中長期計画(100周年含)の策定	総合企画課	「総持学園Vision2024」改訂版(2023-)に基づき、中期計画マネジメントシステムで年度計画・目標の進捗管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントシステムへの入力依頼(年3回) ・入力内容は明白に、根拠資料があるものはアップロードすることを推進していく ・年度末には全学自己点検評価委員会の評価を行い、担当部署、各科ヘフィードバック 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標・計画、中間報告、期末報告の入力依頼を適切なタイミングに行うことが出来た。 ・通知文に資料のアップロードを促す文章を追加したため、資料の登録件数が増えた。 ・令和4年度の事業実績を5月の理事会で報告し、全学自己点検評価委員会による点検・評価結果をHPで公表した。 ※根拠資料あり 	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
効率的な組織づくりによるガバナンスの質向上	外部評価委員会などの多様なステークホルダーから意見を聴取する仕組みの構築	総合企画課	令和4(2022)年度に「全学自己点検評価委員会における外部委員に関する規程」を制定した。この規程に則り、教育・研究活動の改善に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委員の委嘱へ向けて、体制や必要書類を整える ・外部委員を招聘する 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部委員2名からの提言を「外部評価報告書」として取りまとめ、大学HPに公表した。 ※根拠資料あり 	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	定期的なUD開催による将来像と中長期計画の全学的な議論・共有・浸透	総合企画課	教職員を対象にしたUD研修会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの洗い出し、開催時期の検討を年度初めに行い、計画的な開催を目指す 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師を迎えて、2月にUD研修会を開催した。参加方法については対象者の状況を考慮し、対面・オンライン・録画の中から自由選択のうえ、事後アンケートを以って出席確認とした。 ※根拠資料あり 	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
学内情報共有の円滑化	大学運営協議会の設置・運用などによる他学部・他部署の教職員間の情報交換	総合企画課	大学運営協議会の適切な運営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の定期開催と効率的な会議進行 ・社会情勢に鑑みて対面開催を検討する ・教職員間の情報共有について、新たな方法を模索する。 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に開催できた。 ・設置基準の改正や10月に開催された短期大学認証評価に係る実地調査での指摘を受け、内部質保証体制の明記等による学則変更を令和6年4月に行うべく検討し、1月の理事会で承認された。 	A	50%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	業務支援・教育支援のためのインフラ(各種システム)の運用強化・利便性向上	情報システム課	<ul style="list-style-type: none"> ・無線アクセスポイントの増設 ・ファイアウォール(FortiGate)の更改 ・プロキシサーバーの更改 ・学務システム CampusSquareのハードウェアの更改 ・学務システム CampusSquareのカスタマイズ ・証明書発行機の更改 	<ul style="list-style-type: none"> ・無線アクセスポイントを年度末までに増設する。 ・ファイアウォール(FortiGate)を9月末までに更改する。 ・プロキシサーバーを9月末までに更改する。 ・学務システム CampusSquareのハードウェアを8月に更改する。 ・学務システム CampusSquareのカスタマイズを5月初旬より関係部署にヒアリングし、カスタマイズ内容を確認・確定し、年度末までに実装する。 ・証明書発行機を関係部署と調整した上で8月に更改する。 	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無線アクセスポイントを1号館2階の会議室に設置した。(9月10日済) ・ファイアウォール(FortiGate)を更改した。(9月10日済) ・プロキシサーバーを更改した。(9月10日済) ・学務システム CampusSquareのハードウェアを12月2日・3日に更改する予定である。(12月3日済) ・学務システム CampusSquareのカスタマイズ(教務関係)を12月末までに実装した。(12月末済) ・証明書発行機を更改した。(12月3日済) 	A	60%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
広報活動・情報発信の戦略的な取り組み	広報部の設置による学内外の情報発信一元化	総務課	広報事業の全学的一元化に向けた取り組み	・広報事業の所管性の明確化に向けた取り組み ・各部署間での広報活動の連携	【期末報告】 全学的な広報一元化に向けては計画・実施には至っていないが、各部署間等で広報活動のための情報共有は行っている。	C	20%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	HPで学内外に向けた積極的教員紹介	教育研究支援課	研究者による研究業績プロ(システム)への入力	研究業績プロ(システム)に入力を行ってもらうよう各研究者に通知、周知を行う。	【期末報告】 新たに入職した研究者に向けてメール等で通知を行った。研究業績プロ未入力の専任教員へも継続して定期的に入力を促していく。 ※根拠資料あり	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	動画で教育研究の様子を公開(大学の魅力の見える化)	教育研究支援課	研究面からの情報の公開を実施していく。	・大学ホームページ上に研究業績プロを通して教員情報を公開する。 ・大学ホームページ上に科研費採択者一覧を公開し、随時更新する。 ・大学ホームページ上に受託・共同研究等の研究情報を公開する。	【期末報告】 科研費の採択者一覧を大学ホームページ上に公開した。内定があり次第、随時更新を行った。 受託・共同研究等の研究情報を大学ホームページ上に公開している。 ※根拠資料あり	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	各HP(大学・学部・病院)の一体的なリニューアルと逐次更新による情報発信力強化	総務課	・動画及びSNSを活用した情報発信 ・教職員のメディア等の出演情報に関する発信 ・教職員の社会貢献情報に関する発信 ・受験生応援サイトでの情報発信	・学生の確保等を目的とした動画の制作、及び複数のSNSを導入して発信する。 ・学部、附属病院等に所属する教職員の活躍を取り上げたメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)の情報の収集、及び申告システムを整備して、一元的に発信する。 ・教職員における政府、地方自治体、公益法人等における参加状況(委員、役員等)及び協定等の状況を把握し、一元的に発信する。 ・受験生応援サイトで入試制度及び大学の魅力を発信する	【期末報告】 ・受験生応援サイトについて、オープンキャンパスや入試情報等、受験生に対して随時発信した。 ・公式X(旧Twitter)は14、公式Instagramは10の部署・団体別のアカウントを開設しそれぞれ情報発信をした。 ・教職員のメディア情報については、随時ホームページ等に掲載した。 ・教職員における政府、地方自治体、公益法人等における参加状況については、随時ホームページ等に掲載した。	A	70%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	SNSを活用したリアルタイム情報発信強化	総務課	・SNSを活用したリアルタイム情報発信の強化	・総務課発信の情報(例:メディア出演情報、マスコットグッズ新作、広報誌発行…など)の発信頻度を増やしたり、定期化させる。 ・CampusNOWの取材様子などをSNSで告知する。 ・LINE、インスタグラムを活用し募集についての情報を発信する	【期末報告】 ・チャットボットの一部運用を開始。また、LINEアカウントは全面的に運用した。 ・X(旧Twitter)は14、Instagramは10の公式アカウントを開設し、それぞれ最新情報を発信した。 ・CampusNOWの取材に関するSNSでの発信については未だ検討中だが、発行のお知らせをTwitterとInstagramの両方で発信を開始。 ・地域連携業務が総務課担当になったため、生涯学習センターのアカウントを継続して運営。つるみ連携カレッジ講座の周知を継続中。	C	30%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	マスコットキャラクターの活用促進	総務課	・学内外のイベント等への参加による知名度向上。 ・マスコットキャラクターをデザインに取り入れたオリジナルグッズをより多くの人に手に取って利用してもらう。 ・委託販売の継続(紀伊国屋書店)。	・オリジナルグッズの新規作成。 ・グッズ周知のために学内外へのSNS等を利用した情報発信。 ・学生からオリジナルグッズのアイデアを募集する。 ・100周年記念事業に向けてグッズの作成。	【期末報告】 ・コロナ禍の影響により、感染対策の掲示物や遠隔授業で使用する教材等の作成が増え、その掲示物等にイラスト使用頻度が増加した。 ・オープンキャンパスや高校訪問でのグッズの配布や学内売店での販売を継続した。 ・大学案内パンフレットの撮影、学校紹介動画の出演、紫雲祭の参加、その他外部でのイベントへ参加した。(つるみ夢ひろばへ参加) ・来年度オープンキャンパスにて配布するオリジナルグッズ1種類の作成中。また、2024年度より配布予定の新入生配付用トートバッグのデザインをリニューアルした。	B	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
教員組織の質向上	教員の評価・処遇の公平性確保	人事課	学部間での処遇実態格差について明確化する	処遇格差の実態とその要因を把握し、格差解消のための是正案作成につなげる。	【期末報告】 大学設置基準の改正に関連し、「基幹教員」への対応のため、人事課内での担当者を定め規程面の改正に取り掛かっている。また、この基幹教員に関しては、UD研修会を開催し、正しい情報を学内の共通認識として得ることができた。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
教員組織の質向上	職位に相応しい採用要件(資格・業績等)の明文化	人事課	設置基準の法令に沿って、必要な学内規程の整備を進める	現時点では規程の不備が確認されていないが、改めて時代に即応した条項を探っていく。	【期末報告】 文学部教員3名、歯学部教員2名、短期大学部教員1名の採用に当たっても、現行規程と照らし合わせても齟齬なく進められてきており、人事課へ提出された最終資料を基にした理事長原議決裁は問題なく実施された。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	文学部教員組織のST比の改善(学科間の不均衡是正)	人事課	現状の問題点を継続的に探っていく	ST比の改善につながる基礎的要素を探る。	【期末報告】 ST比の変更はない。資料の作成は進んでいるが、取扱いに関して慎重にすべき内容も含んでいる。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	大学として求める教員像・要件の明確化	人事課	大学として求める「教員像・要件」の一つとして「鶴見大学教職員の行動規範」の更なる浸透を図る	「鶴見大学教職員の行動規範」第2条に謳っている「教職員は、関連する法令や規則、大学の諸規程・規則、特に兼業の禁止事項などを遵守することはもとより、社会的な規範や職務に係わる倫理規範をも遵守しなければならない。」を受け、倫理規範について具体的な定めを提案していく。	【期末報告】 ルール案作成にまで至っていない。	B	30%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	教員組織の編制方針の策定・運用(業績・年齢・男女比等の不均衡是正)	人事課	今後の教員組織についてその編成方針決定のための基礎資料を提供する	教員組織編制の一助として、各学科所属教員の年齢、男女比等についての基礎資料や、その他有効な資料を執行部へ提供していく。	【期末報告】 資料の作成は進んでいるが、取扱いに関して慎重にすべき内容も含んでいる。	B	60%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
職員組織の質向上	大学として求める職員像(資質・能力)の明確化	人事課	大学が求める職員像について見える化していく	各階層における職員像に関する具体的な議論を行い、職位に合った職員像を明確化し執行部に提案していく。	【期末報告】 課内での継続検討が必要なレベルとなっている。	B	50%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	職員の人材育成方針の策定・運用	人事課	継続的な階層別研修の実施	階層別研修の実施環境を確保し、これまでの研修で培ってきた各職員の「意識」をさらに引き出していく。鶴見大学という組織の一員として、セクト主義に陥らず、それぞれの力をより良く発揮できる気付きをさせるような研修を実施していく。	【期末報告】 6階層に分けた研修を7月までに実施した。各研修の中で、一方向の研修ではなく他部署の人間との共同作業や、意見交換等を伴うグループワークを多めに取り入れていく。提示されたテーマに関して、他部署の異なる職員との協働を経験してもらい、学内での横のつながりを意識してそれぞれの所属部署に戻ってもらう。通常業務ではなかなか意見交換する機会を持っていないが、各人の持つ思いを理解し、可能な部分を共有してもらい、組織力の向上につなげている。研修施設の確保のため、6月までには当初予定のプログラムを終わらせ、7月に管理職研修を実施して完了した。また、2024年2月にはUD研修を実施することができた。 ※根拠資料あり	S	90%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	職員の評価・処遇の公平性確保(脱年功制)	人事課	求める「職員像」を明確化し、これに伴う基準の整備につなげる	「1-6-1 大学として求める職員像(資質・能力)の明確化」と連動させ、脱年功制に向けた議論の素地となる基準の整備を行う。	【期末報告】 評価制度についての資料を確認するが、具体的な制度設計には至っていない。	C	20%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	組織再編と各部門における職務分掌の見直し・明確化	総務課	組織再編と各部門における職務分掌の見直し・明確化	組織再編を行った事により、機能的な組織を構築していく。	【期末報告】 総合的には実施に至っていないが、各部署において工夫を行っている。	C	10%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	勤怠・出張・交通費等管理の効率化	人事課	出張・交通費に関するシステムの稼働	関連規程の改正を完了し、旅費精算システムを本格稼働させる。	【期末報告】 旅費規程の改正とシステムの稼働、勤怠管理システムの定着に伴い、鶴見大学職員就業規則を改正して内容に関して明記することができた。	S	90%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	採用要件(資格・能力等)の明文化と公募による優秀な人材確保	人事課	財務状況をにらみ採用開始に関して進めていく	現時点では計画されていないが、職員採用に関して制定された規程に則り、適切に進めていける準備を整える。	【期末報告】 2023年も押し迫ってきた頃、附属病院事務部の職員に関して中途採用募集が決定し、急遽募集活動を始めたものの、結果としては2023年度中の採用には至らなかった。2024年度採用に向け活動を継続している。	A	80%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 2.経営基盤の強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
収支バランスの回復に向けた財政運営	将来像に合わせた中長期財政計画の策定	経理課	学園の財政再建計画に基づく中長期財政計画の見直し・策定 財政基盤の安定を目標に教育活動資金収支差額のマイナスを均衡させ、経常収支差額のマイナスを減少させるため、歯学部、短大部、附属中学、幼稚園の定員充足率を高め、学納金収入の増加を目指す。 財源の多元化を推進し、将来に向け安定的な経営基盤を確立する。 また、支出抑制のため、物件費等の諸経費の節減を図り、限りのある財源を効果的に活用する。	収支改善に向けた具体的な中長期財政計画の策定と実行及び収支構造の見直し、経営改善に向けた予算策定と執行を行う。	【期末報告】 令和6年1月の理事会で、3号議案「中長期財政計画」の件の中で、将来の手元資金の見通しについて説明し、収支バランスの改善策を検討し、施策の見直しを進めていくことで承認された。 ※根拠資料あり	B	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	費用対効果を意識した事業の精査・効率化	経理課	経常収支バランスの回復に向けた財政運営 中長期計画に基づく令和6年度予算の策定	・持続的な発展に向けて、環境の変化に柔軟に対応できる財務構造の構築を目指す。 ・教育研究経費を含め既存予算については聖域を設けず、経費節減等の適正化を図り、既存予算の中でも、事業そのものの見直しを検討する。	【期末報告】 令和6年度予算において、教育の質の保証、並びに教育の活性化を図り、学生定員確保に向けた施策を進める予算とした。経費については、事務関係支出を対前年度予算額に対し3%以上の減額を図った。 令和5年度は施設の効率的な利用を進めるべく、人事課・経理課のキャンパス内移転を8月に実施、学生会館の光熱費を前年比500万円程度削減することができた。 ※根拠資料あり	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	周辺業務の非専任化やアウトソーシングの推進、事業法人化	事業推進課	[事業推進課]多角的な収益を図るため、適格な人材の派遣等が可能となる事業会社の設立を検討し、提案する。 [総務課]業務の効率化や人件費の抑制を図るため、各部署の周辺業務を把握し、非専任化やアウトソーシングを推進する。	[事業推進課]正職員による作業が必要な業務や、収益事業の調査を行い、事業会社の遂行する業種を検討する。 [総務課]各部署の周辺業務の非専任化やアウトソーシングを推進する。	【期末報告】 [事業推進課]学校法人が出資し収益事業を行う事業会社について情報収集を実施した。理事会で事業会社の検討が了承され、本学で実施する場合の具体的な組織体や業種を引き続き検討している。 [総務課]事業推進課を主体に、学校法人が出資し収益事業を行う事業会社について情報収集を実施している。各部署の非専任化についてはそれぞれの業務体制に応じて進めている。	B	30%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	ホール、運動場、会議室、空き教室等大学保有施設の外部有効利用	管財課	[管財課]授業等に支障をきたすことがないように、地域貢献の一環として外部が利用できるように調整する。 [事業推進課]外部利用者数を増加させ、利用料を大学運営に補填できるように推進する。	[管財課]申込に対し、可能な限り対応できるように学内を調整し、申し込み団体とコロナウイルス感染対策を含んだ協議の上、利用できるようにする。 [事業推進課]施設利用に係る業務(申込、許可、利用優先順位の決定等)を見直すと共に、効率化を図り、基本となるマニュアルを作成する。	【期末報告】 [管財課] 2023年度の貸出件数：記念館(ホール・講堂)33件、1号館16件、2号館8件、3号館1件、4号館3件、5号館3件、体育館15件、荒立グラウンド70件、師岡グラウンド3件、獅子ヶ谷グラウンド9件 [事業推進課] 施設利用に係る業務は個々の対応になる部分が多いため、基本的な考え方、全体的な流れについてのマニュアルを作成した。 ※根拠資料あり	A	70%	A	作成したマニュアルについて、どのように周知したのかを示し、根拠資料(マニュアル等)をアップロードしてください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	病院(医療)収入の増加と支出の抑制	病院事務部	・昨年度に引き続き、業務委託契約内容の見直しを図り委託費を削減する。 ・T-DECを活用し外注技工費を削減する。 ・周術期口腔機能管理の患者数を増やし、増収に繋げる。 ・消耗品の消費・在庫管理を一括管理し、死蔵・過剰在庫の解消およびコスト削減を図る。 ・「国民皆歯科検診」の囲い込みを行い、検診導入前からの受診により増収に繋げる。	・業務委託業者とのヒアリング ・SPD(院内物品管理)の本格稼働	【期末報告】 ・職員の減員、技工研修科生の減数により、内注技工数が昨年度より減少した。 ・金属の高騰により技工料金の価格も上昇したため、新規技工所との価格交渉に進展がなかった。 ・周術期受診者数は年々増加している。次年度は周術期受診後も引き続き当院にて歯科治療の受診をしていただくよう努める。 ・SPD(院内物品管理)にはについては、講座および診療科の統合、院内リノベーションが進行中であることを鑑み、現状での開始は運用上困難と判断した。体制変更が一段落する2024年度後半を待つ準備を再開し、2025年度の稼働を予定している。 ※根拠資料あり	C	40%	C	SPD(院内物品管理)について、2022年度報告で契約業者が決定したとありますが、2023年度に本格稼働に至らなかった理由を示してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 3.同窓会との連携強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
同窓会と連携した学生支援や大学運営	R4(新)同窓会と在学生のコミュニケーション強化	学生支援課	在学生に同窓会準会員であることを認識してもらい、同窓会を身近に感じてもらう。	同窓会奨学生の円滑な選考 紫雲祭パンフレットへの挨拶文の掲載 [文短同窓会]紫雲祭への参画。卒業年次生からの役員選出を円滑に行う。 [歯学部同窓会]アルバイト求人、正規雇用求人への掲載協力。 [キャリア支援課]歯学部同窓会からの歯科衛生士求人と一般と分けて提供。	【期末報告】 [学生支援課]両同窓会からの紫雲祭への援助及びパンフレットへの挨拶文掲載。文・短同窓会は昨年に引き続き紫雲祭への企画参加をしていただいた。また、文・短同窓会、歯学部同窓会ともに紫雲祭2日目にホームカミングデーを開催し、多くの同窓生が来場した。また例年、文・短同窓会事務局から依頼がある幹事の推薦について、卒業年次生で主に文・短同窓会奨学生に選考された学生を中心に声掛けをし、文・短各学科1名ずつの幹事を推薦できた。 [キャリア支援課]歯学部同窓会経由での歯科衛生士求人(同窓生運営の医院)を他医院と区別して提供(2023年度の同窓会経由での求人数0) ※根拠資料あり	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
同窓会と協働で行うイベント・学生募集	ホームカミングデーの開催	総務課	ホームカミングデーの開催	同窓会と関係部署と連携しながら計画及び実施をしていく。	【期末報告】 紫雲祭開催時に文・短同窓会、歯学部同窓会はホームカミングデーを実施、文・短同窓会の会場作りを協力。	B	30%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	同窓生の優遇措置	入試センター事務部	・昨年度入試から導入した学納金の変更、奨学制度のリニューアルを広く周知していきたい。また、歯学部同窓会推薦入試の受験者増、同窓会長推薦の入学金減免制度の利用者増を狙いたい。 ・今年度実施の入試より短大部同窓会推薦を設置した。	・昨年度入試の対象者から学納金の変更、奨学制度のリニューアルが行われた。全国の歯学部を志望する受験生にその制度が周知できるようWEB広告、チラシなどで周知を図りたい。歯学部同窓会推薦については同窓会事務局とも連携していく。 ・今年度実施の短大部同窓会推薦について、出願までの流れを同窓会事務局と細部まで確認をする。	【期末報告】 ・歯学部同窓会推薦入試では1名、総合型選抜における同窓会推薦制度の利用2名、編入学試験における同窓会推薦制度の利用1名の入学があった。 ・短期大学部同窓会推薦については志願者が出なかった。	C	50%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 4.機能的で心地よい学修空間づくり

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり	仏教の魅力を伝える教育機能・文化施設の整備	管財課	キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、計画の中にコンセプトを反映していく。	キャンパス全体(中学・高校・幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。	【期末報告】 キャンパス全体(中学・高校・幼稚園等を含む)の修繕・改修等の計画にコンセプトを反映可能な部分は反映し、引き続き策定していく	C	10%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。
	学生の憩いの場(カフェ・ラウンジ・広場)がある居心地の良いキャンパス作り	管財課	[管財課]キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、計画の中にコンセプトを反映していく。 [事業推進課]地域や街、他大学等の情報を収集し、学生にとって憩いとなるものを検討していく。	[管財課]キャンパス全体(中学・高校・幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。 [事業推進課]施設の修繕・改修計画に学生の憩いの場を確保できるよう検討し、提案する。	【期末報告】 [管財課]学生の休憩スペースとして、屋外の5号館入口横スペースにベンチ、記念館掲示板前にテーブル一体型ベンチを設置。1号館屋内には廊下に机とイスを設置した。 [事業推進課]学生の休憩スペースを整備するにあたり、管財課と協力して取り組んだ。	B	30%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
	誰もが安心して過ごせるバリアフリー化やセキュリティ強化	管財課	[管財課]キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、計画の中にバリアフリー化やセキュリティ強化が図れるように反映していく。 [包括支援課]キャンパスのバリアフリー化を推進するため、学内の状況について確認し、検討を行う。	[管財課]キャンパス全体(中学・高校・幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。 [包括支援課]キャンパス内で障がい学生にとって障壁となる場所について確認し、改善案を検討する。	【期末報告】 [管財課]雨天時における屋外階段等の滑り止め防止対策を実施した。 [包括支援課]次年度に学内のバリアフリーマップ作成予定のため、引き続き設置状況の改善案について検討中。	B	40%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 4.機能的で心地よい学修空間づくり

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況委員会評価	評価理由、コメント等
地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり	機器・設備の統一化・標準化による維持・管理の効率化	管財課	授業等に支障のないように経年劣化による老朽化、不具合が多発している機器備品等の更新を行い、維持・管理に努める。	・1号館PC・AV機器更新 ・4号館受変電設備(2年次計画1年目) ・6号館外壁防水改修工事 ・記念館空調設備工事 ・附属病院診療室電灯盤取替 ・大会館EV更新及びバリアフリー化【整備計画状況により】 ・附属病院診療室等統合整備 ・附属病院医療系配水排水管更新	【期末報告】 ・1号館PC・AV機器更新、6号館外壁防水改修工事は3月完了した。 ・4号館受変電設備は令和6年5月完成予定で進行中。 ・記念館空調設備工事に向けて設計業務は終了した。 ・病院整備は診療室改修に向けて進行中。	B	40%	B	引き続き、改善・向上に努めてください。
図書館等での効果的な学修空間づくり	アクティブラーニングを促すフレキシブルな学習環境整備	管財課	・キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、アクティブラーニングを促すフレキシブルな学習環境となるよう計画していく。 ・大学の学習空間の整備計画に合わせた、ラーニング commons の整備、運用を行う。	・キャンパス全体(中学・高校・幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。 ・ラーニング commons の効果的な利用を促進すべく、利用しやすい什物の形状や大きさなどの検討を行う。	【期末報告】 ・ラーニング commons 2に、短期大学部歯科衛生科学生に対する「学習アドバイザー」コーナーを設置した。 ・絵本コーナーに、短期大学部保育科学生に対する「学習アドバイザー」コーナーを設置した。 ・6号館3階講堂にアクティブラーニング対応可能な可動式机・椅子を設置した。 ・年度目標に沿った整備を実施した。	A	90%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	図書館などの利便性向上による利用率拡大	図書館事務室	図書館書架狭隘化問題の解消を目標とし、今後、年次計画で進めるための試験期間として、不用図書廃棄手順等を検討する。	インターネットで代替可能な学術雑誌の廃棄処分について、2024年度以降、順次計画的に進めるために、対象雑誌の抽出、事務手続き、学内での物理的移動、廃棄処分費用の積算等を行う。	【期末報告】 ・書架狭隘化解消の方策として、除籍対象の紀要について図書委員会の承認を得た。 ・書架狭隘化の方策として、インターネットで代替可能な学術雑誌の除籍について図書委員会の承認を得た。 ・利用率拡大の方策として、短期大学部附属三松幼稚園の保護者を図書館利用の対象として加えた。 ・利用率状況可視化の取組として、毎月末に学年別、各学部学科別の図書館利用人数をグループウェアから公開することとした。	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	グループ学習エリアなどの勉強しやすい空間の拡充	管財課	・キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、グループ学習エリア等の勉強しやすい空間を拡充できるような計画を検討していく。 ・図書館を学生の居場所の一つとして機能させるべく、数多くの娯楽雑誌をインターネットで読む事が出来る空間を創出、拡大する。	・キャンパス全体(中学・高校・幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修計画を策定する。 ・図書館内の特定の場所以外にも、学外からもアクセスできる環境整備に必要な費用について検討する。	【期末報告】 ・緊急性の高い各所修繕・改修は順次行なった。 ・購読可能な雑誌数を拡充し、購読可能なエリアを全館に拡大した。	A	90%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
環境及び防災に配慮した機能の整備	横浜市・總持寺と連携した防災機能の強化	管財課	横浜市との「大規模地震等の災害時における避難施設の提携協力に関する協定」(平成25年度締結)及び「災害時における施設等の提供協力に関する協定」(平成26年度締結)に基づき、帰宅困難者の一時滞在施設となっている。 横浜市より帰宅困難者用(500人分)の備蓄品の受け入れを行っているため、腐食等のないよう適切に備蓄する。また、本学独自の災害対策備蓄用品・非常食等については、1号館・2号館・体育館に整備しており、同様に腐食等のないよう適切に備蓄し、非常食が賞味期限切れとならないように廃棄及び新規分の購入を行う。また、2021年度より実施したフードバンク神奈川への寄付は継続して行っていく。	・防災備蓄品の在庫調査 ・非常食の賞味期限時期の管理 ・非常食の廃棄及び新規購入 ・非常食のフードバンク神奈川への寄付	【期末報告】 ・本学独自の備蓄品の在庫、非常食の賞味期限時期を調査し、賞味期限を迎える備蓄品を学園祭で学生や近隣住民に配布。また、フードバンクへも寄付を行い、その補填分を新たに購入し備蓄した。	A	40%	A	防災備蓄品の管理以外に行なったことがあれば報告してください。 特になしとのこと、確認しました。 引き続き、改善・向上に努めてください。
	省エネ化と太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用推進	管財課	・各所設備機器の更新に合わせ、高効率型への更新、蛍光灯のLED化を実施する。 ・記念館空調設備を更新する。(3年次計画)	・各所設備機器の更新に合わせ、高効率型危機への更新、蛍光灯LED化を実施する。 ・記念館空調設備を更新する。(3年次計画1年目)	【期末報告】 ○照明 ・附属病院診療室(口腔外科、放射線、麻酔)及び病棟の病室、ナースステーション及び廊下をLEDへと更新した。 ○空調 ・2号館5階研究室(歯内療法4部屋、歯周病3部屋、クラブ1部屋、口腔リハビリ補綴5部屋)、4階解剖実験室1及び3階学生基礎実習室、附属病院給食控室、6号館研究室、院生控室を高効率型機器へ更新。 ・記念館空調更新工事は設計業務が終了した。	B	50%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。